地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会　広報紙
2012年　12月号（第56号）
発行責任者　　薄井 文子

ところざわ倶楽部第6期総会会場風景

ところざわ倶楽部第6期活動方針

ところざわ倶楽部　第6期会長　　薄井　文子

はじめに

11 月 14 日の「総会」を終えて第６期がスタートしました。　“ともに集い、元気に楽しく！”をモットーに「ところざわ倶楽部」の発展と地域に根ざした活動の輪を広げていきましょう。

1　第6期ところざわ倶楽部の活動方針

次の三**点**を柱に、倶楽部の一層の活性化を図っていきたいと考えています。

一点目は、「文化祭」を盛大に行うこと。

会員のみなさまの芸術芸能に係わる磨かれた技を発表する機会であるとともに、会員相互の親睦を深めるすばらしい機会と位置付け、５月に「文化祭」を開催いたします。

二点目は、「サークルの活動発表会」の拡充。

先の「総会」前のイベントとして、三つのサークルが活動状況を発表してくださいました。この様な機会をさらに拡充して行きたいと思います。気楽にご参加ください。

三点目は、「サークルと連携した事業」の拡充。

第６期も理事会とサークルが協働して、楽しく興味深い事業を展開していきたいと思っていますが、そのためには、サークルと理事会が普段から意思疎通を図っておくことが大切ですので、各サークルの活動に合わせ、事業部を中心とした理事による「サークル訪問」をさせていただきたいと思っております。

2　会員のみなさまへの二つの「お願い」

一つは、「ところざわ倶楽部」の行事に、積極的にご参加いただきたいということです。

これまでの実績から、「講演会」も「文化祭」も参加者の数がとても心配されます。

「好奇心は若さと健康の源！」といわれています。折角の機会です、お仲間とお誘い合わせのうえ是非お出かけいただきたいと思います。

もう一つのお願いは、各サークルからの積極的な事業のご提案です。

「バス旅行」や「講演会」、「シンポジウム」、そして「映画や音楽、芸能の鑑賞会」などサークルからのご提案をお待ちしています。

最後になりますが、会員のみなさまの元気で楽しい１年に、「ところざわ倶楽部」も貢献できますことを心から願っています。

ところざわ倶楽部　第6期総会報告

総務部長　森下　尚洋

加曾利 第５期会長

第６期定期総会は、11 月 14 日（水）新所沢公民館ホールで、開催されました。

開催に先立ち 13 時より、三つのサークル「地域の祭り研究会」、「歴史散策クラブ」、「公園を楽しむ会」による活動報告が行われました。いずれのサークルも興味深くかつ活発な活動内容でした。

総会出席者は、総会開催時点における会員総数 252 名中 107 名でした。

総会は、総務部理事の私、森下の開会の辞により始まり、加曾利会長の議長で審議に入りました。

前半は、会長の第５期総括報告、各部の第５期活動報告、会計報告及び各報告に関する審議でした。

薄井 第６期会長

加曾利会長は、第５期の活動の成果と今後の課題を披露。倶楽部の組織の特徴を活かした体制、今後の事業の在り方などを強調されました。

次に、役員改選に移り、下表の役員が紹介され、異議無く承認されました。

後半は、薄井新会長に議長が交代し、第６期の活動計画、第６期予算案が審議されました。

薄井新会長からは、「ともに集い、元気に、楽しく」をモットーとする、第６期活動方針などを内容とした就任挨拶がなされました。

提案された議題は、すべて原案どおり承認されました。出席者からは、積極的な意見、質問もあり、理事会への理解も進んだものと思います。

第６期理事及び担当分野

会　長	薄井　文子(公園)	
総務部	事業部	広報部
部長：森下尚洋（葵） 会計：阪口義男（傍聴） 会計：稲村洋二（北欧） 杉浦正紀(自然)　加藤司則(地域) 八木雅子(ﾄﾞﾗｶﾝ)　柴田　勲(理) 菅沼庸雄（理）	部長：志村喜八(アジア) 池田新八郎（理）　若山　昭(理) 平野公子(歴史)　甲斐聖彦(散策) 佐藤美津子(理)　荒木洋哉(楽悠) 井上昭夫(祭り)　島川謙二(理)	部長：髙橋赳彦（理） 長岡慶一(環境)　後藤律子(農業) 岡田俊吾(理)　小林典子(理) 仲山富夫(理)
会計監査	小椋雄二(理)　飯泉陽子(理)	

（サークル名と略号）

ドラマティック・カンパニー	ﾄﾞﾗｶﾝ	歴史散策クラブ	散策	楽悠クラブ	楽悠
野老澤の歴史を楽しむ会	歴史	公園を楽しむ会	公園	北欧の会	北欧
地域の自然を考える会	自然	地域の自然	地域	傍聴席	傍聴
地域の祭り研究会	祭り	アジア研究会	ｱｼﾞｱ	葵の会	葵
所沢の自然と農業	農業	地球環境に学ぶ	環境	(理事会推薦)	理

総会を終えて

総務部長　森下　尚洋

定期総会の出席者に対し、総会の感想、ところざわ倶楽部への思いなどを聞いてみました。

総会、理事に対しては、好意的な意見が多く、総会の運営に関し「字づらを追いかけることなく基本的な考えを伝える方法はよかった。お疲れ様でした。」とか、「総会ご苦労様って感じ、会員もあたたかく理事を見守っていきますから頑張ってください。」などという声が聞かれました。

行事関係では、昨年のような文化祭の開催と同時に、絵画、書道、写真、陶芸などの会員の作品の展示を企画したらとの声もありました。

薄井新会長への期待も大きく、17 期の高瀬浩衣さんより、次のようなエールを送る文章の投稿をいただきました。

第6期定期総会に出席して

17 期　高瀬浩衣

17 期市民大学を修了し、“ところざわ倶楽部” に入会していながら総会に出席したのは２度目でしょうか。正直なところあまり関心はありませんでした。なぜなら最初に参加したときの印象があまりにも堅苦しく、興味のそそられる事柄がなかったからです。

今回は友人の誘いもあり、サークル活動報告もあるとの事で出掛けました。

活発な活動をされている３つのサークルの報告はとても素晴らしく、興味が湧く内容ばかりでしたが、各サークルの会員数が多いとの事に納得がいく活動報告と感じました。

またパワーポイントでの発表は、先月終了した 19 期市民大学グループワーク発表会を思い起し、この様な機会が新規入会の方々にあったなら更に多くの希望者が出たのでは？とも感じました。　加曾利会長のご挨拶、各部報告では各役員の方々の並々ならぬご苦労とご尽力があって　“ところざわ倶楽部” が運営されている事を再認識しました。

第６期の役員改選で、会長は薄井文子さんがされることになり、同性として心強い限りです。

今後はお人柄そのものの爽やかな新風を “ところざわ倶楽部” に浸透させて、更に魅力ある倶楽部になることを期待しエールを送ります。

平成 24 年 11 月理事会報告

総務部長　森下　尚洋

11 月理事会は 12 日(月)10 時から開催された。

1　加曾利会長より第５期成果と課題に対する所見（「広場」11 月号に掲載）

(1) クラブの特徴を活かしていない面がある。
(2) 組織が脆弱で業務が個人に集中している。
(3) 年間スケジュールを前倒して対応すべき。
(4) 理事の任期を２年以上にするよう検討すべき。
(5) 女性の視点を重用するため、次期会長に薄井文子さんを推薦した。

2　第６回定期総会資料および総会役割分担の検討

(1) 第６期総会資料について、一部訂正後　承認。
(2) 薄井新会長、総会時の挨拶披露、加曾利会長の総括とともに理事会として承認。
(3) 総会の役割分担、進行スケジュール決定。

3　若山事業部長より事業部事案の報告

（1）　10 月 18 日、19 期生の閉講式終了後に行われた説明会で、サークル概要を会長が説明した。
（2）　19 期生入会希望者 14 名。
（3）　10 月 23 日の芋煮会は盛況であった。
（4）　倶楽部入会希望の 19 期生に対する総会出席勧誘は登録サークルが行う。
（5）　1 月 30 日の講演会のチラシ作成は志村新事業部長が担当。

4　池田広報部長より広報事案の報告

（1）　広場 11 月号の紹介。
（2）　広場 12 月の企画紹介と記事の依頼。
（3）　次期部長高橋理事から、6 期の方針は基本的に 5 期を踏襲する意向との説明があった。

支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動レポート

サークル活動状況

自然に親しみつつ、ボランティアと健康作りを楽しむ

《 所沢の自然と農業 》 髙橋 赳彦

「所沢の自然と農業」サークルは、次の三つを柱に活動しています。

1　里山の手入れ・再生と景観保全
2　循環型農業の継承と地域農業の活性化支援
3　自然に親しみ健康作り

そして、今年も様々な形で、存分に自然を満喫しました。そのうちの主なものを紹介します。

落ち葉掃きと景観保全活動

まず、この地域の冬の風物詩、雑木林の落ち葉掃き(クズハキ)支援です。

正月明けの１月５日に柳瀬公民館裏で行われたものを皮切りに、３月上旬までに合計 10 回に及ぶ落ち葉掃きに参加しました。

県の川越農林振興センターが音頭をとって、下富の平地林で大々的に行う落ち葉掃きでは、“ところざわ倶楽部”も実行委員会に名を連ねますが、当サークルは倶楽部の窓口のみならず、このイベントの中核支援団体として参加しました。また、４月には、落ち葉掃きで綺麗になったこの平地林で、当サークルが中心となって支援する「新緑を愛でる会」が行われ、多くの人と共に素晴らしい平地林の春を楽しみました。

美しい自然に触れて健康作り

４月は、野山北・六道山公園へお花見ハイキング。6 月は、15 日に松戸の北小金にある紫陽花と菖蒲で名高い本土寺にハイキング。正に満開の紫陽花を愛で、また 29 日には湯ノ丸高原と池の平湿原にハイキング。

レンゲツツジの群落やコマクサなどの高山植物を楽しみました。

地域農業活性化の支援

一方、市の農政課に出前講座をお願いし、所沢の農業の現状についてのお話を聞くなど、真面目に勉強もしました。

また、年間を通じ、地産野菜の直売及び農家民宿におけるイベント支援など、地域農業の活性化に取り組む青年農業者の支援も行いました。

私達の活動へのお誘い

枯れ葉が散り始め、今年も落ち葉掃きの季節がやってきました。

1 月 27 日(日)には、下富で「三富・千人落ち葉掃き」が大々的に計画されています。是非多くの会員の皆さんのご参加をお願いします。私達は既にそのための準備として、下草刈り作業を始めています。

また、1 月 20 日(日)には、県の川越農林振興センターが中心となって「第３回農と里山シンポジウム」が開催されますが、ところざわ倶楽部も実行委員会に名を連ねています。当サークルは今回も倶楽部の窓口サークルとしてこのシンポジウムを支援致します。

多くの会員の皆様が、このシンポジウムに参加され、美しい里山に囲まれた所沢の自然を守り、伝統ある循環型農業を後世に伝える活動に理解を深めて頂きたいと思います。私達の活動がその一助となれば幸いです。

《傍聴席》

「政務活動費」に関するアンケートの結果

８区を地盤の衆議院議員３氏と所沢市議の回答

本間 滋、 阪口 義男

10 月号でふれましたが、地方自治法改訂の中で「政務調査費」が「政務活動費」になりました。地方議員の「政務調査費」を改訂し、その交付目的を「議員の調査研究」から「議員の調査研究その他の活動に資するため」と、使途を広げました。改訂の影響を受けるのは自治体ですが、決定責任は衆議院にあります。

そこで「傍聴席」は８区を地盤とする衆議院議員３氏にアンケートを行いました。回答を頂けるか心配しましたが、小野塚勝俊、塩川鉄也、柴山昌彦（到着順）の３氏全員から誠実な回答を頂きました。

また、市議諸氏には９月定例会終了後に若干の時間をおいて別途同趣旨の質問を行い、こちらは市議総数 36 名中（会派統一見解を含めて）34 名の方から回答を頂きました。

[1] 衆議院議員三氏へのアンケート

質問は、地方議員の「政務調査費」を「政務活動費」に改め、その交付目的を「議員の調査研究」から「議員の調査研究その他の活動に資するため」と使途を広げたことについて、①「活動費」への改定と、②「政務」の概念について、さらに、③ 個別に一問を添えて各議員の見解を訊ねるものです。

質問と回答の詳細は「傍聴席」のホームページに掲載を予定していますが、ここには①と②の回答に対しショートコメントを記します。

なお、この法律の改訂に当って、国会からは「具体的な使途範囲については、自治体ごとに条例で規定すること」、そして「議長はその使途の透明性の確保に努めるものとする」という要請が出されていることを踏まえてお読みください。

各氏の回答を読んで感じたこと

塩川氏 は、今回の改定を審議した衆議院総務委員会のメンバーとして同委員会で「改訂の要なし（総務委員会ニュース）」と明快に主張しています。再確認となりました。

小野塚氏 は、最も早く回答を寄せてくださいました。ただ、この ①「活動費」の改訂については、もう少し明解な回答を聞きたかったという思いがあります。大いに評価すべきは、②の政務について「政党活動、選挙活動、後援会活動、私人としての活動などは当然のことながら含まれるものではありません。」と規定なさった事です。

柴山氏 は、拡大解釈の危険性は認めつつも、国会としては「各自治体が条例で定める事」としており、運用上の細部規定は地方議会に委ねられている、と答えています。

この点、所沢市議会を見れば既に適切な運用がなされていて、氏の回答はそれなりに頷けます。

[2] アンケートに対する市議の回答

夫々の回答を拝読しました。所沢市議会は「政務調査費の交付に関する条例」とその「施行規則」を設け、「使途基準」についても「研究研修費」「調査旅費」「資料作成費」「広報費」「維持費」「会派共用費」「その他の経費」の仕分けに基づいて、１円以上の領収書添付を励行するというように適切な運用がなされています。他市の市議会とは明らかに違うので、これを「是」とするとともに、寄せられた 34 人全員の回答を、これも「傍聴席」のホームページに掲載する準備をしています。

[3] 総　評

さて総選挙が近づいています。私達はややもすれば国政と市政を分けて考えがちですが、今回の地方自治法の改訂を見ると、国政と市政は実は密接不可分である事が良く分かります。国政の変化と市政への影響についてはもっと考えなければならないようです。ちなみに所沢の直近の事例では衆議院議員選の投票率は 68.7%、参議院議員選 58.5%。それに対し市議選 41.18%と市長選 34.68%です。ここからは市政への関心の低さが見えます。

国政と市政の異同、関連などについて具体的にみんなで考えてみませんか。

・近々「傍聴席」のホームページに、国会議員三氏と市議のみなさんへの「質問と回答の全文」を掲載します。

ところざわ倶楽部 第６期事業 第１弾　１月 30 日開催！

「サークル説明会」及び「新春公開講演会」

ところざわ倶楽部第６期の事業第１回目として、サークル説明会、公開講演会を開催いたします。
会員の皆さん、新春の倶楽部事業に奮ってご参加ください。　　　　　**事業部長　志村 喜八**

日　時：平成 25 年 1 月 30 日（水）
場　所：中央公民館ホール
第 1 部：サークル説明会（13：30～14：00）
第 2 部：新春公開講演会（14：00～16：00）
　演目：「放射線のなにが問題か」
　講師：滝谷紘一氏（所沢市山口在住）
　　元内閣府原子力安全委員会事務局勤務
主催：ところざわ倶楽部
協力サークル：「地球環境に学ぶ」

第１部：サークル説明会

倶楽部 14 サークルの活動の説明、19 期新サークルの紹介をいたします。また、市民大学 19 期修了者、会員の皆さんのサークルへの新規加入、新サークルの設立申し込みを受け付けます。

第２部：講演「放射線のなにが問題か」

あの忌まわしい 3.11 以降、福島の人達は思っても見なかった放射能災害に直面し、ふるさとを追われています。私たちも国の定めた放射線に関する安全基準を一応信じて暮らしていますが、食べ物などは大丈夫なのでしょうか。

そこで今回は、「放射能のなにが問題か」と題して、放射線被曝と健康について元原子力安全委員会事務局に勤務された滝谷紘一さんのお話をうかがいます。日常生活の中で知っておいた方が良いと思われることを、具体的に実例を示しながらわかりやすくお話しいただく予定です。

「地球環境に学ぶ」サークルの皆さんのご協力をいただき準備を進めていますが、原子力発電のあり方について考えるよすがとなればと願っています。

第２回 ところざわ倶楽部 文化祭
参加者募集！

事業部　若山 昭

本年７月に初めて開催した文化祭は大変好評でしたが、暑さが観客の出足を鈍らせたという反省を踏まえ、第６期の事業計画においては暑い時期を避け、来年５月に第２回目の文化祭を計画することにしました。第１回目の文化祭においては、民話の朗読、朗読劇、オカリナとマンドリンの夫妻協奏、ヴァイオリンとピアノの二重奏、オカリナの合奏、そして、「とことこバンド」のデビューと、バラエティーに富んだ内容でお楽しみいただきました。次回はさらに多くの会員の参加を仰ぎ、内容も充実したいと思っております。

つきましては、出演ご希望の方は来年１月末までにサークル代表理事を通して、演目と所要時間を事業部理事までお知らせください。サークルでのお申込み、個人でのお申込みは問いません。ちなみに、昨年デビューした「とことこバンド」は、サークルの枠をこえて同好の会員が結成したものでした。このように、文化祭を機会に新しい会員のつながりをつくって参加してみるのもよいのではないかと思います。

演目は音楽に限りません。落語、漫才、能、狂言等の古典芸能なども大歓迎です。但し、参加はところざわ倶楽部の会員を主体としたものに限らせて頂きます。

また、前回はホールでの演芸発表に限りましたが、理事会においては、会場通路、学習室等で写真や絵画、書、陶芸、手芸などの展示を同時開催してみてはという意見もあがっています。ご要望等あればサークルの代表理事までお知らせください。

サークル活動計画

12 月～1 月の各サークルの活動ラインアップです。興味のある活動に参加してみませんか？

アジア研究会（小椋雄二　2921-7739）

12 月 19 日(水)12 時「木曽路所沢店」忘年昼食懇親会開催
1 月 16 日(水)13 時 30 分 ～16 時 30 分　定例会
所沢中央公民館 8､9 学習室
ＤＶＤ鑑賞予定も演目未定

地域の自然（多胡國男　2993-6143）

12 月 08 日(土) 09 時～ 定例会　調査地整備等
12 月 22 日(土) 09 時～ 定例会　調査地整備等
1 月 12 日(土) 09 時～ 定例会　調査地整備等

傍聴席（高垣輝雄　2926-7164）

12 月 17 日(月) 定例会、14 時 ～ 新所沢東公民館
テーマ：「コミュニティーを考える」
事例発表と自由な意見の交換。コーディネーターは細山さん(生涯学習推進センター) です。

歴史散策クラブ（大河原功　2943-2004）

12 月 8 日(土) 総会&忘年会
総　会：新所沢東公民館 15：00 ～
忘年会：美原町、自然食品店「有機の里」17：30
1 月、元祖山の手七福神巡り＋泉岳寺 (詳細別途)

楽悠クラブ（甲田和巳　事前連絡は不要）

12 月 11 日(火)① 総会、② 喜歌劇｢天国と地獄｣DVD 鑑賞
1 月 15 日(火)13:15 ～ 中央公民館 #8・9 & 音楽室
① 例会、② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ映画「永遠のﾙﾁｱｰﾉ･ﾊﾟｳﾞｧﾛｯﾃｨ」
新年会/ 一部：下山静香ﾋﾟｱﾉ･ｺﾝｻｰﾄ / 二部：懇親会

ドラマティック・カンパニー（八木雅子　2995-0148）

12 月 15 日(土) 10:00～正午
1 月 12 日(土)、1 月 19 日 (土) 10:00～正午
会場：新所沢東公民館
『アントニーとクレオパトラ』を読み進めます。

地球環境に学ぶ（塚本二郎　2942-3117）

12 月 18 日(火) 15 時 ～新所沢東公民館　定例会
各自勉強の発表及び新年度計画　　忘年会
1 月 15 日(火) 15 時 ～新所沢東公民館　定例会予定
※環境問題に関心ある方、傍聴においで下さい。

葵の会（池田新八郎　2940-0711）

12 月 13 日(木) 13：30～16：00 中央公民館７号
平家物語古典講座第９回　能登殿最後
1 月 10 日(木) 総会及び新年会
詳細は後日連絡

地域の自然を考える会（前岳良子　2928-7334）

12 月　休会
1 月 22 日(火) 定例会&新年会(七福神巡り)

野老澤の歴史を楽しむ会（山本苗子 2995-0876）

12 月 9 日 (日) 熊野神社しめ縄作り見学
集合：航空公園駅改札口、12 時 30 分
12 月 20 日 (木) 定例総会：中央公民館、15 時より
忘年会：徳樹庵、17 時 30 分より

公園を楽しむ会（渡部正俊　2921-3014）

12 月 20 日(木) ところ荘(神明社 脇)
10:00 ～ 12:00　定例会
12:30 ～ 15:00　忘年会
1 月行事　　未定

北欧の会（樋口俊夫　090-6483-7993）

12月　　休会
1月26日(土) 第36回例会　13時20分 ～
テーマ：総会および北欧旅行報告他
場　所：新所沢東公民館

所沢の自然と農業（清水仁一　2944-8835）

12 月 13 日(木) 例会：新所沢公民館 13:00 ～
12 月 15 日(土) 横山農園下草刈 10:00 ～14:00
12 月 15 日(土) 景観市民活動クラブ例会 17:00 ～
1 月 20 日(日) 第３回農と里山シンポジウム 12:30 ～

地域のまつり研究会（影山洋　2921-8522）

12 月 21 日(金) 24 年度の反省会及び忘年会

料理コーナー

後藤律子

　家事評論家の吉沢久子さんのエッセーに、冬になると｢大根の柚子巻き｣を作ることが書かれていて、はじめて柚子巻きなるものを知りました。吉沢さんの場合は大根がしんなりするまで干すのですが、干さずに漬けこむだけで、簡単に出来るレシピを見つけましたので紹介いたします。 お正月料理で疲れた胃に優しい一品です。

　なお、柚子巻は日高地方の郷土料理でもあり、お正月には、高麗神社周辺の農家の庭先で直売されています。

柚子巻き大根

「材料」

・大根：2 分の 1 本、柚子の皮：適量、
　塩：小さじ 1~2、
・合せ酢： 酢 2 分の 1 カップ、砂糖 大さじ 3
　(甘さは自分で加減してください)

「作り方」

① 大根をスライサーで薄く切り(勿論腕に覚えのある方は包丁でどうぞ)、うす塩をして 1 時間ほど置く。
② 柚子の皮をむいて、細切にする。(えぐみが出るので、包丁が白い綿の部分までいかない様にむく。)
③ 塩をした大根の水をきって、柚子を真ん中にはさみ 2 枚重ねにして巻く。
④ 巻いた物を並べ、合わせ酢につける。冷蔵庫に 1 時間以上入れたら食べられます。

料理コーナーは今回をもって終わらせて頂きます。
1 年間ご愛読頂き有難うございました。

むさし野俳句会（二十四年十二月）作品抄

日を乗せて桜紅葉の吹かれ浮く　鈴木 征子
日ごと透く朴の梢(うれ)先冬に入る　粕谷 昇
大橋へつるべ落しや帰り船　河瀬 俊彦
塩引の小さく薄き山の宿　小林 貞夫
十三夜勤めし街の変はりやう　小林 典子
秋日和観覧車からわが家が　佐藤 英子
もみづるや天を占めたる大銀杏　佐藤 八郎
さはさはと歴史を語る芒原　白神 恵子
縦横に水尾を織りなす鴨の群れ　高梨 千代
みずうみに映り込みたる山もみぢ　高橋 三郎
赤き腹さらし荒巻吊るされし　高光 泉

エルガーの威風堂々星月夜　利根川啓一
泡立草群がり咲いて吉備平野　中村 直子
味覚てふ不確かなものずいき食ぶ　中嶋 弘子
秩父路に冬を呼び込む柝入りかな　橋本 佑子
背伸びして賽銭上ぐる七五三　平栗 彰子
境内におばけ屋敷や秋祭　荒幡千鶴子
新巻の味噌拵(こしら)へを好みけり　飯泉 陽子
あやとりの糸の縺(もつ)るる近松忌　井出 昇
強塩の紅鮭焼けば母のこと　海老澤愛之助
近頃は荒れ放題のきのこ山　岡本詔一郎
突出しに辛味大根文化の日　岡本 博

《 編 集 後 記 》

◆ 時の流れは早いもので、所沢市民大学 14 期生が、課程の修了に当たって設立した「ところざわ倶楽部」も、はや 6 年目の 6 期を迎えました。

◆ 5 期までの会長及び主要役員は、主に 14 期の方々が担当されてきましたが、この度の総会で選任された、会長をはじめとする第 6 期主要役員は 16 期が主体を占め、世代交代を印象づけることになりました(年齢は余り変わりませんが)。さらに大きな変化を印象づけたのは、女性会長の誕生です。

◆ ところで、老化を遅らせ、高齢期の健康を高めるためには知育、体育、食育、環境が大切だと言われますが、このうちの知育と体育の場を提供することも、ところざわ倶楽部の大きな役割の一つではないかと思います。ここでも女性パワーが光ります。

◆ 総会終了後の 11 月 22 日、「公園を楽しむ会」による高尾山紅葉狩りハイキングが行われました。

　会員の丁度半数の 25 名が参加しましたが、うち 11 名が徒歩で、他は途中までケーブルカーを利用して頂上を目指しました。ところが何と、この 11 名の徒歩登山者のうち 9 名が女性だったのです。

　そして、頂上に着いてみると、そこはシニア世代の女性で溢れていました。

◆ ところざわ倶楽部も例外ではありません。元気な女性達で一杯です。倶楽部の活動を活発にするためには、この知的にも、体力的にも優れている女性会員のパワーに期待するところが大です。

　広報部も、このように元気溢れる活動的な女性会員の力を借りて、倶楽部のスムースな運営に貢献したいと思っています。

髙橋赳彦